

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイティブ学科 ファッション技術コース 2022年度(R4)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○		服装造形論	基本的な衣服の構造と縫製法を学修し、人体を包む衣服の構成を通年で学ぶ。一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識をスカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品を通じて理論的に学ぶ。	1・通年	120	4	○			○	○			
2	○		服装造形 デザイン	アイテム別の成り立ち、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケットの基本のデザインから、応用デザインまでの構造を学ぶ。アイテム別のディティールの名称を学ぶ。	1・通年	60	2			○	○	○			
3	○		服装造形ソーイング	衣服の構造と縫製法を、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じて、ミシンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ・補正、裁断、縫製を学修する。	1・通年	330	11		△	○	○	○	○		
4	○		服装造形平面構成	人体を計測観察し、立体の基礎知識と製図の基本を学習する。文化式原型、スカート、シャツ・ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じ、平面構成による製図方法を学ぶ。	1・通年	90	3			○	○	○			
5	○		服装造形立体構成	工業用ボディを使用し、立体裁断(ドレーピング)の基礎(一般知識・ボディの準備・裁断・タイトスカート・原型・フレアスカートのドレーピング)の説明と実演を学ぶ。	1・通年	30	1		△	○	○	○			
6	○		生産企画	ブランドイメージ、価格、流行やニーズに合ったデザイン企画、書類作成の方法を学ぶ。	1・通年	20		△		○	○	○	○		
7	○		生産管理	工場発注に向けた書類製法を学ぶ。	1・通年	20	2		△	○	○	○	○		
8	○		アパレル品質論・素材論	製品(作品)の素材を理解し取扱いについてを学ぶ。	1・通年	20		○		△	○	○	○		
9	○		パターンメイキング	布の持つ性質を理解し、生産工場に倣い、作品(製品)を提出日(納品)までに計画的に生産する流れの中で、品質・原価・納期に関する認識を修得する。主に、パターンメイキングを学ぶ。デザイン画をもとに、流行、機能性、シルエットに考慮してパターンメイキングする技術(スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品)を学ぶ。	1・通年	60	2			○	○	○			
10	○		工業パターンメイキング	布の持つ性質を理解し、生産工場に倣い、作品(製品)を提出日(納品)までに計画的に生産する流れの中で、品質・原価・納期に関する認識を学ぶ。主に縫い代付き工業用パターン(縫製に合わせた縫い代、パターン記号、附属パターン)について学ぶ。	1・通年	30	1			○	○	○			
11	○		ファッションデザイン画	人体のプロポーション、衣服着装の表現、素材表現などの基礎テクニックを学ぶ。	1・通年	30		△		○	○	○			
12	○		クロッキー	対象物を素早く描くことで、そのものの動きや変化を大きく捉え、表現力を学修する。	1・前期	12	2		△	○	○		○		
13	○		テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等、柄の種類等、テキスタイル知識を学修する。	1・前期	18		△		○	○	○			
14	○		ファッション色彩学	色についての基礎的な知識、色彩によるデザインの変化や視覚的効果などを学修する。	1・前期	15		○		△	○		○		

15	○		服装史	古代から現代にいたる西洋を中心とした服装の推移、発展を映像を使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を生かせるように学修する。	1・通年	8	1	○		○	○				
16	○		ファッション情報	市場調査や、雑誌、TV、インターネット等をから情報収集しファッションデザインに反映させる考え方を学修する。	1・通年	7		○		○	○				
17	○		服飾手芸	刺繍・パッチワーク等の、デザインと素材に合わせた技法の基礎を学修する。	1・前期	27			○	○	○				
18	○		ニット	手編み(かぎ針・棒針)編地の種類と特質を理解し、編みの構造を学修する。	1・前期	9			○	○			○		
19	○		テキスタイル	テキスタイルの基本的な構造と応用技術を織り機を使用して学修する。	1・通年	48	4			○	○			○	
20	○		染色	生地の染色の基礎を、絞り染めの実習を通して学修する。	1・後期	6				○	○			○	
21	○		アクセサリ	作品に合わせたアクセサリを製作し、基礎を学修する。	1・後期	30				○	○			○	
22	○		ファッションビジネス論	ファッションビジネス業界の基礎知識と現状を学ぶ。	1・通年	12		○			○			○	
23	○		ショッピングリサーチ	商品開発や広告の為の市場調査・分析などの方法を学ぶ。	1・通年	15	1	○		△	○	○	○		
24	○		コンピュータワーク	コンピュータの基礎操作を学修し、文章入力・表計算の方法等を学ぶ。	1・後期	3			○		○			○	
25	○		コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの方法を学修し、表現力を学ぶ。	1・通年	21		○			○			○	
26	○		コーディネート演習	着こなしや、着せ付けなどの演習を通して、個性を生かしたコーディネートの技術を学ぶ。	1・通年	21	2		○		○			○	
27	○		メイク	基礎化粧法を学び、肌にあった手入れ方法、メイクアップ技術、顔の特徴に合わせたメイク方法を習得する。フレグランスとネイルの基礎知識を学修する。	1・通年	18			○		○			○	
28	○		就職ガイダンス	就職活動の進め方、インターネットや職業紹介所の利用方法を知る。グループ面接、グループディスカッションの対応方法を修得する。	1・後期	13		○			○			○	
29	○		企業研修	企業訪問を行い、将来の職業に対する向上心を高め、専門知識を学修する意義を深める。企業で即戦力となる、専門知識や技術および態度を修得する。	1・後期	17	1			○		○	○	○	○
30	○		茶道	伝統的な日本文化に触れることで「文化」の持つ重要さを感じる。お茶の作法から礼儀までを修得する。	1・前期	9			○	△	○			○	
31	○		ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学ぶ。	1・通年	15	1	○			○			○	

49	○		ファッションデザイン画	ファッションデザイン画に求められる実力の修得として、技術、知識、感性の3つの要素をカリキュラムにの課題として構成し、学生が独自の発想を具体的に表現できる実力を身につける。現在のアパレル業界で流通している基本的なファッションアイテムを中心に衣服を明確に描く技術を修得する。画材の使用や方法も習得しファッションデザイン画の表現を養う。	2・前期	30	2		△	○	○	○					
50	○		テキスタイルデザイン	テキスタイルの基礎知識を元に織り組織を理解し、素材から服地のイメージを膨らませ、デザイン発想能力を修得する。	2・通年	30			△	○	○				○		
51	○		ファッション色彩学	パーソナルカラーの基本知識を得て、色のイメージを豊かにする方法を学ぶ。	2・通年	15	1		△	○	○				○		
52	○		モード史	1920～1980年代までの服飾史を知り、現代のファッションとの関わりを考察する。	2・通年	12			○			○	○				
53	○		ファッション情報	アパレル産業の現状・コレクション情報、最新のトレンド情報の知識を学ぶ。	2・通年	3			○			○	○				
54	○		服飾手芸	服飾手芸の基礎知識を学び、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につける。	2・前期	16	3		△	○	○				○		
55	○		ニット	ニットの基礎知識を学び知識と技術を学ぶ。	2・前期	14			△	○	○					○	
56	○		テキスタイル	織機の構造を理解し、実物製作を通して各種織り技法の構造を知る。	2・後期	44			△	○	○					○	
57	○		帽子	帽子の基本的な帽子から応用作品までの知識と技術を深める。	2・後期	5		△	○	○					○		

58	○	染色	染色に関する基礎的な知識と技法を修得する。テキスタイルについての理解を深める。	2・前期	6		△	○	○			○
59	○	アクセサリ	アクセサリの基礎知識を学び、クリエイティブかつオリジナルな創作力を養う。	2・後期	5		△	○	○			○
60	○	ファッションビジネス論	ファッション産業構造の把握と専門業務について理解し、ファッション業界全般について学習する。	2・前期	15		○		○			○
61	○	ショッピングリサーチ	ショッピングや街頭などの調査を通してリサーチ力を身につける。調べる、見る、聞くリサーチの基本を修得する。ファッション産業の構造を理解し業界別にリサーチを行い、それぞれの特徴を学修する。	2・通年	10	1	△	○		○		○
62	○	販売実務		2・後期	5		△	○		○		○
63	○	コーディネート論	時代への適用力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。	2・通年	6		○	△	○			○
64	○	コーディネート演習	アクセサリと色彩、素材を考えながら、トータルコーディネートの組合せを学ぶ。	2・通年	24	1	○	△	○			○
65	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析・履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践的に修得する。学校内外の会社説明会に積極的に参加する。	2・通年	30		○			○		○
66	○	企業研修	企業訪問や協力企業にて企業研修(インターシップ)を行い、将来の職業に対する向上心持つ。企業で即戦力となる、専門知識や技術および態度を修得する。	2・通年	30	2			○		○	○
67	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換など社会人としてのマナーを学ぶ。テクニカルスキル、ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルを学ぶ。	2・前期	15		○	△	○			○
68	○	美術鑑賞	美術館、博物館、ギャラリーなどの施設にて、芸術作品の見方を学び、創造力や感性を養う。	2・前期	15	1	○	△		○		○
69	○	校外研修	工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識と感性、及び情報を修得する。	2・通年	15		○				○	○
70	○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。	2・通年	15	1	○			○		○
71	○	学校行事	新入生歓迎会、募金活動、スクールピクニック、針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。	2・通年	30	1	○			○		○
1学年合計					35 科目		1200 単位 (単位時間)					
2学年合計					36 科目		1200 単位 (単位時間)					
総合計					71 科目		2400 単位 (単位時間)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：		1 学期の授業期間	21 週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。